

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 愛広会	代表者	池田 弘	法人・事業所の特徴	ご利用者も職員も明るく活気のある事業所です。在宅生活を送る事ができる方々が、住みなれた地域でいつまでも生活を続けられるよう、ご家族と一緒に考えていく事を念頭に置き、サポートできればと考えています。個人性を尊重し笑顔が多く、心が和む寄り添うケアを目指しています。
事業所名	リビングサポートおやま	管理者	長谷川 綾子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	人	1人	1人	人	1人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・良い評価が継続するように職員の質の向上をめざし、自己目標を立てる。	・スタッフ会議やミーティングで意見を出し合い、良かった点や改善点を見直し良い評価につながる様に心掛けた。	・一生懸命に取り組んでいる姿勢がうかがえました。 ・時間を作り頑張っていると思いました。	・働きやすい職場環境を作り、常にホスピタリティ精神を意識した対応で接する。
B. 事業所のしつらえ・環境	・感染予防・衛生管理に努め、清潔な環境を心掛ける。	・コロナ感染対策もあり更に消毒・清掃・換気等衛生面を常に意識した。レク道具等も使いやすく整理整頓を心掛けた。	・コロナ感染の為、何う事がなくなりよくわかりません。	・前回の計画継続
C. 事業所と地域のかかわり	・地域と関わる事で、事業所の存在やサービス内容を知って頂き知名度アップに繋がる様に交流を図る。	・コロナ感染の影響で地域との関りが持てなかったが、地域の一員である事を念頭に心掛けた。	・地域の方は知っていると思います。 ・管理者・ケアマネの職員とは、数少ない会議だが、お会いする機会があり地域の方と繋がっていると感じています。	・前回の計画継続
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・少子高齢化が進む中で、助け合いが出来る事業所となる様に関わりを継続する。	・独居の方や関りが薄い家庭利用者については、特に注意を払い包括や民生委員との連携を図るようにした。	・コロナの為、よく分からないですが、一生懸命にやっているとします。	・前回の計画継続
E. 運営推進会議を活かした取組み	・事業所の報告事項のみにならず、地域の中での心配事や困難事例も聞き地域の方にとって有意義な会議にする。	・コロナの関係上開催が難しい為書面での開催となった。今後、開催する際には、参加したい。	・コロナの関係で会議が開催できず残念です。 ・信頼関係を築く様に心掛けていると感じました。	・会議開催が困難であっても書面で掲示し、全員が周知出来るようにする。地域の出来事も共有し連携を図る。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>・防災訓練では、近隣の方に声を掛け参加して頂ける様に今後も継続する。地域を巻き込んだ取組を目指す。</p>	<p>・コロナ対策として外部の参加を見送った為、地域の方の参加はなかったが、定期的な訓練と受け入れ体制は継続していきたい。</p>	<p>・地域の防災訓練に今まで参加されていましたが、今年はコロナの関係で地域の防災も中止となり交流が途絶えていて、来年こそは、参加できればいいですね。</p>	<p>・前回の計画継続</p>
----------------------------	--	---	---	-----------------